

# GIVENCHY

GIVENCHY FALL - WINTER 2023  
MEN'S READY-TO-WEAR COLLECTION

press release – January, 18th, 2022



新しいフォーマル、改良されたドレスコード、クラシックの進化。2023年秋冬メンズコレクションで、ジバンシィは現代のマスキュリニティという視点からメンズウェアの原型を再評価しました。アーティストック・ディレクターのマシュー・M・ウィリアムズは、彼を取り巻くアート志向のコミュニティにおいて、彼自身の服との関わり方に反映されたサルトリアの美徳の本能的な進化に気がきました。それは、メンズウェアの伝統的な価値観に対する理解であり、それを現代の考え方に適応させたいという欲求に掻き立てられたもの。すなわち個々の考え方に基づくフォーマルや、気楽さ、自信といった服飾文化を表しています。

個性への反映は、現実的かつ諷的なビスポークの研究に表れています。原型は分解され、着用する人が持つ多面的な性格への提案として再構築されます。それはイギリスのインディーロックミュージシャン、Bakar（ベイカー）がショーのために作曲・録音したサウンドトラックにも反映されています。オブティカルホワイトのボックス型の会場の中で発表されたコレクションは、ウェアやアクセサリーの加工に採用された技術的・職人的なアプローチを際立たせ、そのプロセスを支える極端なカットングや、複雑なファブリック処理、難解な表面装飾を浮き彫りにしています。

ドレスコードのカスタマイズは、オートクチュールのアトリエで作られた4着のブラックスーツを含むテラリングに反映されます。トラディショナルなタックイン・スタイルに反してあふれるボリュームの研究を引き起こすテクニックは、アイディアの効果を最大限に発揮するためにレイヤードされたルックに採用されています。クロップド丈のスウェットシャツやバギーなスポーツウェアの上に、デリケートなジャージーをタイトに重ね、エレガントなシルエットを演出。チェック、カモフラージュ、フレイム、デニム、ブリーチ・キャンバス、グレー・マール、ネオン、ティーンエイジ・パステルなど、アメリカ特有のパターンやカラーがふんだんに用いられています。

クラシックなフォルムを解きほぐすことで、ワークウェアの脱構築が生まれます。切り裂かれたカーゴパンツはスウェットパンツの上に重ね着されたスカートとして姿を変え、タータンチェックのキルトは反芻し、ボイラスーツは未完成のまま残されます。このルックは、1960年代に創業者であるユベール・ド・ジバンシィがジーンズにジャンパーを自然に巻きつけてスカートのように着用していた姿を思い起こさせ、「どのように服を着るのか」という気持ちや、ジェスチャーを服に取り入れる自己表現など、個々の着こなしのアイディアをさらに刺激します。また、解体されて袖がなくなったスウェットシャツは腰のあたりにぶら下がるように着用され、オールスウェットスーツという世代を超えた夜のシルエットとなって新しいフォーマルへの道を切り開くのです。



# GIVENCHY

GIVENCHY FALL - WINTER 2023  
MEN'S READY-TO-WEAR COLLECTION

press release – January, 18th, 2022



全体を通して、ワークウェアの典型的なスタイルに華やかなモチーフが加えられています。スネークスキン、チータープリント、フェイクウルフファーなど、ユベール・ド・ジバンシイが愛したインテリアの中で見られるパターンやテクスチャーからインスピレーションを得ています。素材は、伝統的なメンズウェアのコードを進化させるもう一つの方法として採用されたファブリックの実験的な表面を捉えています。日本に伝わるつぎはぎの技術“BORO”によってデニムが再構築され、フーディーは4Gラインに沿って手作業で仕上げられ、ウレタンコーティングされたナイロンのメタリック・フライトスーツのトニックカラーは丹念なガーメントダイで実現され、シープスキンのフライトジャケットのバックスタイルにはイエローペイントが施され、ハリスツイードの典型的なヘリンボーンのコートにはパープルのエフェクトが施されています。

ドレスコードの交換の対話の中で、バッグはウィメンズのアーカイブからも影響を受けています。リラックススタイルの『Pandora (パンドラ)』は大きく肩に掛けるタイプや腰にぶら下げるタイプなど、コレクションにリンクする素材で表現されています。ストラップのディテールを強調した『Voyou (ヴォワイユ)』のメッセンジャーバッグや、裏地からフェイクファーが顔を覗かせるミニマムなモデルなど、さまざまなバッグにアーカイブの要素が取り入れられています。このアイディアは手元のアクセントとなるグローブや、彫刻的なリングにも反映されています。シューズはレザーやウォッシュドキャンパスのワークブーツ、スネークスキンやパテントのカウボーイブーツ、カーボンファイバーのエンボスレザーを使ったウェリントンブーツ、コレクションの素材を使ってアップデートした『TK-MX』など、典型的なスタイルが揃います。

